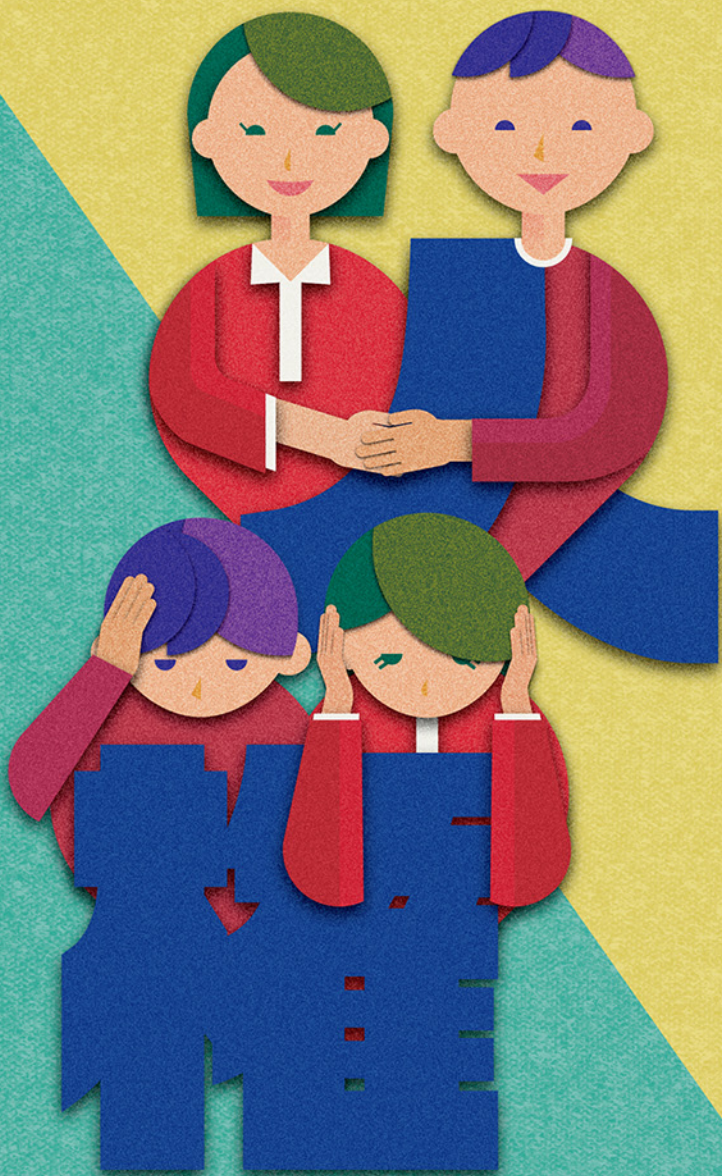




みんなと違う。同じじゃないから認めない。



みんな違う。それをお互い認め合う。

人権って何？

私たちは、生まれながらにして自由・平等であり、
幸せで健康に生きる権利を持っています。
こうした権利は基本的人権と言われ、
憲法でも保証されており、
不当に侵してはならないものです。



様々な人権問題

みんなが生まれながらにして平等に持っている人権。でも、実際にはいろいろな理由で差別されたり、不当な扱いを受けたりしている人がいます。それは出身地や社会的な身分、性別、年齢、障がいの有無など、個人の責任ではないことで人を判断していることによるもの。これまでの誤った認識やかたよった考え方を「世間がこうだから」「私には関係ない」という考え・態度で受け入れてしまうと人権問題を解決することはできません。

気づけば、築ける。

人権が守られる未来

みんな違う。それをお互い認め合う。

みんながみんな違うように、この世に同じ人はいません。一緒なのは、みんな同じ「ひとりの人」ということ。私たち一人ひとりが相互に人格と個性を尊重し合うことができれば、多様性を認め合う、誰一人取り残されることのない社会になるはずです。

相手はその場にいないから、相手の気持ちは考えない。



相手はその場にいないから、相手の顔を思い浮かべてみる。

相手はその場にいないから、相手の気持ちは考えなくてもいいのかな？

クラスの友だちがSNSでAちゃんの悪口を書き込んだ。私も同じような書き込みをしたら、別の友だち数人も面白がって続けざまに投稿。あっという間に広まって、取り返しがつかないことになっちゃった。



これって
人権
問題

インターネットと人権

情報を集めたり発信したりするのに便利なインターネット。自分の名前や顔を簡単に知られることなく発信できるため、他人の悪口を言ったり、個人情報を勝手に流したりする問題があります。また、データのコピーも簡単にできてしまうため、公開されて拡散してしまうと完全に削除するのが難しくなり、情報を書き込まれた人は周囲の人から誤解されたり、嫌がらせされたりする問題が起きています。

気づけば、築ける。

インターネット上の人権侵害がない未来



相手はその場にいないから、相手の気持ちになってみた。

友だちがSNSでAちゃんの悪口を書き込んだ。それを読んだ他の友だちも面白がって同じような書き込みをしていたけど、Aちゃんの気持ちを考えたらそんなことできないはずだね。

文化や言葉が違う。だから、関わらない。



文化や言葉が違う。だけど、分かりあえる。

文化や言葉が違くと、 関わるのはめんどくさい？

最近ぼくのクラスに転入してきた外国人。
いつも一人でさみしそうだけど、
話しかけてもきっと仲良くはなれない。
日本語は苦手そうだし、育った環境も違うし、
考え方だってぼくたちとは違うと思うから。

これって
人権
問題



外国人の人権

外国人が感じている差別の例として、日本語が話せても「外国人」という理由だけで就職やアルバイトができなかったり、アパートが借りられなかったりするものがあります。また、外国人であることを理由に、低い賃金や悪い環境で長時間働かされることも。文化や言葉など習慣が違うことでコミュニケーションをあきらめたり、無関心でいたりすることにより外国人が地域社会から孤立してしまうことも問題になっています。

気づけば、築ける。

外国人の人権が守られる未来

文化や言葉が違っても、分かりあえる！



最近ぼくのクラスに転入してきた外国人。いつも一人でいるから話しかけてみた。話してみると、ぼくと同じでサッカーが好きだと分かった。一緒に練習するようになって、今では親友であり、ライバルでもある。文化や言葉が違っても、分かりあえるんだ。

「どんな人か」でなく、「どこの人か」で決める。



「どこの人か」でなく、「どんな人か」で決める。

「どんな人か」よりも 「どこの人か」が大事ななの？

恋人からプロポーズされて結婚を決めた私。
両親に恋人が挨拶に来ることを話したら
「あの地域の人だよね？結婚は賛成できないよ」
と言われた。恋人がどんな人かを知らうともしないで、
出身地だけで決めるなんて。

これって
人権
問題



部落差別

日本社会の歴史的過程で形づくられた身分差別により、国民の一部の人々は、仕事や生活などで厳しい制限を受け、集まって特定の地域に住むことが決められていました。この身分制度がなくなった今でもこの地域に住む人やこの地域出身であることを理由に、結婚や就職で差別を受けている人たちがいるほか、公共の場所などに差別的な落書きや貼り紙、インターネット上に悪質な書き込みをするなどの問題もあります。

気づけば、築ける。

部落差別のない未来

「どこの人か」よりも
「どんな人か」知って欲しい！

恋人を両親に紹介した私。被差別部落とよばれる地域の人ということも伝えたけれど、「素敵な人との結婚を決めたね」と、笑顔で祝福してくれた。





伝えるなんて選べない。 どう思われるか怖いから。

私の恋愛対象は同性の人。

この前クラスの仲間が性的少数者について心無い発言をしていた。

私のこと知ったらみんなはどんな反応をするのかな。

誰にも相談なんてできないよ。

性的少数者の人権

「男性は、男性の特徴のある身体を持ち、男性らしい行動をし、女性を好きになる。女性は、女性の特徴のある身体を持ち、女性らしい行動をし、男性を好きになる」と考えられがちですが、出生時に割り当てられた性と心の性が一致しない人たちや、同性愛、両性愛の人たちなどがいます。性的少数者の人たちは、性自認や性的指向に対する差別や社会生活上の制約などの様々な問題に苦しみ、社会の中で生きづらさを感じています。



気づけば、築ける。

性的少数者の人権が守られる未来

受けとめてくれる環境だから、 今度伝えてみようかな。

恋愛対象が同性の私。この前クラスの仲間に性的少数者についてどう思うか聞いてみたら、「いろんな人がいるのは当たり前だね」という答え。まだ自分のことは言っていないけれど、いつか伝えてみようかな。

伝える、伝えない。私はひとりで悩まない。

伝える、伝えない。それすら選べない孤独がある。





法務省委託事業

愛知県県民文化局人権推進課

〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1 愛知県東大手庁舎3階

TEL.052-954-6167 FAX.052-973-3582

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/jinken>